

校正証明書番号: ******-**

総数4頁の1頁

校正証明書

依頼者名 株式会社****

住 所 福岡県福岡市*****

品 名 電子式非自動はかり 製造者名 新光電子株式会社

識別記号 型式 HJR-33KTJS 器物番号 ********

校正項目 質量/はかり

校正方法 弊社はかり校正マニュアルによる(文書番号: KIS700)

校正に用いた標準器 常用参照標準 (証明書番号 ******)

*詳細は次頁に表示

受付年月日 校正年月日

校正実施場所



校正結果は、次頁以下のとおりであることを証明します。

****年**月**日 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜2丁目5-1 株式会社石蔵商店 新宮工場 校正室

校正室長 ** ** 印

[・]この証明書は、計量法第144条(第1項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしに、この証明書の一部分のみを複製して使用することは禁じられています。

当校正室は、ISO/IEC 17025(JIS Q 17025)に適合しています。

[・]この証明書は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPLAC(アジア太平洋試験所認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APLACのMRAを通じ、国際的に受け入れ可能です。



校正証明書番号: ******-**

総数4頁の2頁

1. 校正器物の仕様

1) ひょう量及び目量

ひょう量 1 :	7000 g	目量 1	:	0.1 g	□ 単目量
ひょう量 2 :	33000 g	目量2	:	1 g	目量の形態 : □ 複目量
ひょう量 3 :	g	目量3	:	g	■ 多目量
) D C ++ 1.4			/1/		

2) 温度特性 ± 3 ppm/K

3) 内蔵分銅の有無 ■ 有 □無

4) 自動ゼロ設定機能 ■動作 □停止(または機能なし)

5) 校正時に使用した付加物等

なし

2. 校正に使用した常用参照標準

番号	個別番号	△公称値P (g)	協定質量e(g)	拡 <mark>張不</mark> 確かさ <i>U</i> (g)
1	CW-5KG-1-1	5000	-0.001	0.025
2	CW-10KG-1-1	10000	-0.004	0.050
3	CW-20KG-1-1	20000	-0.02	0.10
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				



校正証明書番号: ******-**

総数4頁の3頁

3. 測定値

①繰り返し性

No.	荷 重	指 示 値				
1	5000 g	5000.0 g				
2	5000 g	5000.0 g				
3	5000 g	5000.0 g				
4	5000 g	5000.0 g				
5	5000 g	5000.0 g				
6	5000 g	4999.9 g				

標準偏差*Sw* = 0.04

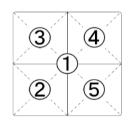
分散 V_W = 1.67E-03

②偏置荷重

荷 重:10000 g



位置	指 示 値	差
1	10000 g	
2	9999 g	−1.0 g
3	10001 g	1.0 g
4	10000 g	0.0 g
5	10000 g	0.0 g



分散 Ve = 1.67E-11

③正確さ

No.	校正点	試 験 荷 重	指 示 値
1	5000 g	4999.999 g	5000.0 g
2	10000 g	9999.996 g	10000 g
3	15000 g	14999.995 g	15000 g
4	20000 g	19999.98 g	20000 g
5	25000 g	24999.979 g	25000 g
6	30000 g	29999.976 g	30000 g



校正証明書番号: ******

総数4頁の4頁

4. 校正結果

公 称 値	偏差	拡張不確かさ	包含係数(k)
5000 g	0.00 g	0.23 g	2
10000 g	0.0 g	0.8 g	2
15000 g	0.0 g	0.9 g	2
20000 g	0.0 g	1.0 g	2
25000 g	0.0 g	1.2 g	2
30000 g	0.0 g	1.4 g	2

- *拡張不確かさは、信頼の水準約95%に相当し、包含係数&は上記の通りです。
- * 拡張不確かさの算出結果が当校正室の最高測定能力の値より小さくなった場合は、 当校正室の最高測定能力の値を拡張不確かさとして表示しています。

- 指示値の読取時間 : 負荷後 5 秒
- 校正前負荷 : □無し 有り (25000 g)
- ・ 校正前スパン調整 : □無し ■有り(内蔵分銅で実施) □有り(外部分銅で実施)
- スパン調整前データ

No.	測 定 点	試 験 荷 重	指 示 値
1	5000 g	4999.999 g	4999.8 g
2	10000 g	9999.996 g	9999 g
3	15000 g	14999.995 g	14999 g
4	20000 g	19999.98 g	19998 g
5	25000 g	24999.979 g	24998 g
6	30000 g	29999.976 g	29997 g